



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
9月12日
発行

第191回

「金価格上昇の背景を探る」

～地政学リスクの高まりと財政悪化～

初めに

金価格の上昇が止まりません。指標となる販売最大手の田中貴金属工業の地金価格は、8月29日に前日比28円高の1グラム1万1円と、国内小売価格が初めて1万円を超え、9月6日にはさらに1グラム1万105円まで上昇しました。消費税が5%に引き上げられた後の1999年には1,000円を下回りましたが、この20年余りで10倍に上昇したことになり、年間平均としては2022年まで4年連続で上昇しています。

金価格上昇の理由

金価格上昇でまずあげられるのが、以前に比べて国際協調の機運が薄れてきていることです。ここ数年、温暖化対策などで各国は足並みを揃えてきましたが、最近はその足並みに乱れが見られます。ウクライナ戦争は依然終結の兆しを見せず、日中の処理水問題も膠着した状況が続いています。中国は8月28日、南シナ海の大半を中国領に含めた新たな地図を公表し、ベトナム・インドネシア・フィリピンなど関係各国から激しい反発を受けています。インドも、中国が両国の係争地域などを中国領と地図に記したことを受けて抗議しています。先日行われたASEAN関連首脳会議でも南シナ海の領有権問題に解決の糸口は見出せませんでした。このように、地政学リスクが近年ないほどに高まっていることで、安全資産である金の価格が高騰していると考えられます。

警戒感高まる財政悪化

主要国の財政悪化も金価格にとっては押し上げ要因と言えます。8月1日、米国の大手格付け会社フィッチ・レーティングスが米国の長期債務の格付けをAAAからAA+に格下げしました。今後3年間で予想される財務の悪化や、債務上限問題を巡る与野党の対立が原因として挙げられています。日本でも、岸田首相のインフレ対策としての補助金や、異次元緩和による支出が財政を圧迫し、あと、補正予算にもエコノミストなどの間で賛否両論が展開されています。財政にも配慮することが必要ではないでしょうか。

金価格はまだまだ上がる

現在の金価格上昇は地政学リスクや主要国の財政悪化などが原因となっており、決して一過性のものではないでしょう。金はますます強くなり、リスクヘッジとして金の需要はさらに高まる、と考えています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。